

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成24年9月13日 (2012.9.13)

【公開番号】特開2010-42804(P2010-42804A)

【公開日】平成22年2月25日 (2010.2.25)

【年通号数】公開・登録公報2010-008

【出願番号】特願2009-177153(P2009-177153)

【国際特許分類】

B 6 0 R 16/02 (2006.01)

B 6 0 R 11/02 (2006.01)

B 6 5 D 81/113 (2006.01)

B 6 5 D 81/38 (2006.01)

【F I】

B 6 0 R 16/02 6 1 0 A

B 6 0 R 11/02 Z

B 6 5 D 81/06 Z

B 6 5 D 81/38 H

【手続補正書】

【提出日】平成24年7月26日 (2012.7.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

熱に弱い部品を高温、衝突、及び湿気から保護するための格納容器 (1 0 0) であって

、

熱に弱い部品 (1 2 1) を収納するために構成される内部空洞 (1 0 4) を囲む外部ハウジング (1 0 2) と、

前記内部空洞 (1 0 4) を囲む断熱層 (1 1 2) であって、前記セラミック素材の熱膨張係数とほぼ同等な熱膨張係数を有する素材を有する断熱層と、

前記内部空洞が前記格納容器に対して外部である環境から密閉されるように外部ハウジングと対になるようにかみあうように構成されるカバー (1 0 8) と、を備え、

前記外部ハウジング及び前記カバーの少なくとも一つがセラミック素材から形成されている格納容器 (1 0 0) 。

【請求項 2】

前記セラミック素材は炭化ホウ素マトリックスからなる請求項 1 に記載の格納容器 (1 0 0) 。

【請求項 3】

前記セラミック素材はファイバー状の炭化ホウ素からなる請求項 1 に記載の格納容器 (1 0 0) 。

【請求項 4】

前記外部ハウジング (1 0 2) はセラミック素材の鋳造物である請求項 1 に記載の格納容器 (1 0 0) 。

【請求項 5】

前記セラミック素材は、複数の層 (1 2 2 、 1 2 4 、 1 2 6) から形成される請求項 1 に記載の格納容器 (1 0 0) 。

【請求項 6】

前記複数の層（１２２、１２４、１２６）は少なくとも一つの金属層からなる請求項５に記載の格納容器（１００）。

【請求項 7】

前記ハウジング（１０２）及び前記カバー（１０８）の少なくとも一つを通る開口と、電力及び電気信号の少なくとも一つを前記ハウジング及び前記カバーの少なくとも一つを介して伝導するために構成され、前記空洞（１０４）と前記格納容器に対して外部である環境との間の密閉を維持するように前記開口を覆う電気コネクタ（１１６）と、を更に備える請求項１に記載の格納容器（１００）。

【請求項 8】

空洞（１０４）を形成し、前記空洞を部分的に囲むシールエッジを含むセラミックハウジング（１０２）と、

シールエッジに補足的なエッジ（１１０）を含むセラミックカバー（１０８）と、

前記空洞（１０４）を囲み、前記ハウジング（１０２）及び前記カバー（１０８）の内側表面（１１４）に隣接した断熱層（１１２）と、を備え、

前記断熱層の熱膨張係数が、前記ハウジング（１０２）及び前記カバー（１０８）のうちの少なくとも一つの熱膨張係数とほぼ同等な熱膨張係数であり、

前記ハウジングと前記カバーとが結合されると前記空洞に囲まれた耐火格納容器を形成する車両用の耐衝突格納容器（１００）。